



ほしぞらとてのひらと

ゼロになるからだ

特集2
覚和歌子さんの詩による合唱作品集



© 深堀瑞穂



特集1
大中恩生誕100年に寄せて

2024年
8月22日(木)

〈開演〉午後6時30分(午後6時開場)

〈入場料〉2,000円(全席指定)

〈チケット〉前売り販売締切 8月8日(木)

第62回定期演奏会

フレーベル少年合唱団

文京シビックホール 大ホール

〈チケット・お問い合わせ〉

フレーベル少年合唱団 事務局 電話 03-5395-6600

前売りチケット・当日チケットをお求めの際は、以下アドレスへお問い合わせください。

froebelboyschoir@froebel-kan.co.jp

- 主催/株式会社フレーベル館 ●後援/ TOPPAN ホールディングス株式会社 文京シビックホール(公益財団法人文京アカデミー)
- 企画・制作/フレーベル少年合唱団

* 4歳以下のお子様のご入場はご遠慮ください。

* 写真・ビデオ撮影・録音は固くお断りいたします。

※演奏会の開催につきましては、政府、東京都及び合唱連盟、文京シビックホールの対策方針に基づいて変更することもございます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ほしぞらとてのひらと ゼロになるからだ

今年は作曲家、大中恩（おおなか めぐみ、1924-2018）さんの生誕 100 年にあたります。大中さんは多くの優れた合唱作品のほか、歌曲や童謡をたくさん残されました。今回は童謡を中心に珠玉の作品を集めてお贈りします。

覚和歌子（かく わかこ、1961-）さんは作詞家、詩人として、またシンガーソングライターとしても活動されています。そんな覚さんご自身が歌われた「ほしぞらとてのひらと」は 2011 年の東日本大震災の時に、祈りの気持ちを込めて盟友の丸尾めぐみさんとともに作られました。一方「いつも何度でも」はもともと「千と千尋の神隠し」のために作られたのではなく別の、1995 年の阪神大震災をテーマにした映画のために書かれた詩でした。覚さんには私たちフレーベル少年合唱団のために、信長貴富さん作曲の「ドラゴンソング」の歌詞を書き下ろしていただきました。覚さんの紡ぐ言葉には「音楽になりたい」という意思のようなものが宿っているように思います。今回はそれを解きほぐしてみたいと思います。

他にもたくさんの楽しい歌、美しい合唱の数々をお届けします。お聴きいただければありがたく存じます。

フレーベル少年合唱団音楽監督 野本立人

フレーベル少年合唱団

株式会社フレーベル館の文化・社会貢献事業として、1959 年に誕生した児童合唱団です。

日本では数少ない少年だけの合唱団として、創立以来数百名の OB が輩出、現在の団員数は約 80 名です。

年 1 回の定期演奏会のほか、オーケストラとの共演、オペラへの出演、地域コンサートをはじめとする各種演奏会、地方公演、レコーディングなど、様々な分野で活動しています。

〔2024 年度団員募集〕

- 募集対象／5 歳から小学校 1 年生までの男子
※小学校 2 年生以上のお子様はご相談ください。
- 費用／入会金・月謝はありません。
※ただし年 1 回の定期演奏会には諸費用がかかります。
- 練習会場／株式会社フレーベル館 東京都文京区本駒込 6-14-9
- 応募締切／2024 年 8 月 30 日（金）
- お問い合わせ先／株式会社フレーベル館
フレーベル少年合唱団 事務局

froebelboyschoir@froebel-kan.co.jp

プログラム

- ♪ドレミの歌 A 組
- ♪リメンバー・ミー S 組
- ♪キャロルの祭典より SS 組
- ♪正解 ユースクラス

特集1 大中 恩生誕 100 年に寄せて

- ♪いぬのおまわりさん B 組・A 組
- ♪サっちゃん S 組
- ♪旅に出よう OB

特集2 覚 和歌子さんの詩による合唱作品集

- ♪だから からだ なのだ S・SS 組
- ♪いつも何度でも SS 組
- ♪リフレイン SS 組・ユースクラス

ほか

指揮者&ピアニスト

指揮／野本立人、佐藤洋人、田中エミ、櫻田江美
ピアノ／吉田慶子、神原あゆみ、小原木ひとみ
賛助出演 フレーベルOB合唱団



文京シビックホール 大ホール

東京都文京区春日 1-16-21 文京シビックセンター内

交通機関

- 東京メトロ 後楽園駅 丸ノ内線（4a・5番出口）南北線（5番出口）徒歩1分
- 都営地下鉄 春日駅 三田線・大江戸線（文京シビックセンター連絡口）徒歩1分
- JR 水道橋駅 総武線（東口）徒歩9分